



くすい箱

発行

桐生厚生総合病院 薬剤部

発行責任者 阿部 正樹

編集担当者 根岸 由美

千吉良 啓介

第 18 回目のテーマは、“スイッチOTC医薬品”です。

『スイッチ OTC 医薬品』という言葉聞いたことがありますか？薬局やドラッグストアで買える薬の中に『スイッチ OTC 医薬品』があります。『スイッチ OTC 医薬品』はどんな薬なのか、解説していきます。

スイッチOTC医薬品とは・・・

まず、『OTC 医薬品』は、OTC=Over The Counter：カウンター越しに買えるという意味で、医師の処方箋なしで薬局やドラッグストアで購入できる市販薬（一般用医薬品）のことです。

そして、『スイッチ OTC 医薬品』は、もともと医師の処方箋が必要な医療用医薬品の中から、安全性・有効性が確認され、一般の人が適切に使用できると判断された場合に一般用医薬品に転用（スイッチ）されたものです。厚生労働省の行う検討会議等で議論され、承認されます。

『スイッチ OTC 医薬品』は、国が適切な活用を推奨しており、セルフメディケーション（自分自身の健康に責任を持ち、軽度な体の不調は自分で手当てすること；WHO の定義）の推進や医療費の削減に役立つと考えられていますが、医師の処方箋が必要な医療用医薬品と同じ成分の薬なので、気を付けなければならないことがあります。



代表的なスイッチOTC医薬品は？

現在も病院でよく処方されている成分の『スイッチ OTC 医薬品』を紹介します。

●解熱鎮痛薬

頭痛や発熱は誰にでも日常的に起こり得る症状ではないでしょうか。ロキソプロフェンという成分の『ロキソニン®S』はご存じの方も多いでしょう。ロキソプロフェンは、内服薬の他に腰痛や筋肉痛に使用できる外用薬もあります。インドメタシンやジクロフェナク、フェルビナクという成分の貼り薬や塗り薬も多数あります。

●胃腸薬

胸やけや胃痛もなるべく早く対処したい症状でしょう。胃酸の分泌を抑えるファモチジンという成分の『ガスター10®』が知られています。今年、より強力に胃酸の分泌を抑えるラベプラゾールの『パリエット®S』やランソプラゾールの『タケプロン®S』、オメプラゾールの『オメプラール®S』が発売になりました。

●アレルギー薬

花粉症やアレルギー性鼻炎が突然出現してしまうこともあるでしょう。内服薬のフェキソフェナジンという成分の『アレグラ®FX』、ベポタスチンの『タリオン®AR』、エピナスチンの『アレジオン®20』、ロラタジンの『クラリチン®EX』の他にも、点鼻薬のフルチカゾンプロピオン酸エステル配合『フルナーゼ』などがあります。



スイッチOTC医薬品のメリットは？

- 医師が処方する医療用医薬品と同成分・同量のものが多いので、従来の市販薬に比べて効果を期待できます。
 - 病院に行かなくても購入できるので、受診に要する時間や医療費を削減できます。
 - 薬局やドラッグストアで買えるので、症状に早めに対処できます。
 - 「セルフメディケーション税制」を利用できます。
- ※利用には条件があるので、詳しくは厚生労働省 HP 等をご確認ください。



スイッチOTC医薬品のデメリット・注意点は？

- 自己判断で使用を継続してしまうことにより、重大な病気の初期症状や副作用を見逃がしてしまう可能性があります。
- 手軽に購入できるため、医薬品の乱用や依存に繋がる可能性があります。
- 病院で処方されている薬と飲み合わせが悪かったり、作用が重複したりする場合があります。
- 腎臓や肝臓の状態に合わせて薬の量を調整することができません。

スイッチOTC医薬品を適正に使用するために…

- 薬局やドラッグストアの薬剤師の説明をよく聞きましょう。
用法・用量を守り、副作用の初期症状を把握しておきましょう。
- 通院中の方は、薬剤師にお薬手帳を見せて相談しましょう。
- 症状が改善しない場合は、早めに受診しましょう。
- 効果があっても漫然と使用することは避けましょう。
長期間薬が必要な場合は、根本的な治療を要することがあるため、
受診を検討しましょう。
- 「軽度な症状に、短期間の使用」であることを心掛けましょう。



最後に…

「スイッチOTC医薬品」を購入する時は、薬局やドラッグストアの薬剤師に相談しよう！

「スイッチOTC医薬品」を適切に活用し、セルフメディケーションを実践しよう！

《参考》厚生労働省ホームページ

セルフメディケーション税制（特定の医薬品購入の所得控除制度）について

次回は、2026 年 3 月発行予定です。